

エポックグース

改質グースアスファルト混合物専用バイнда

従来、グースアスファルトは鋼床版に対する防水舗装として用いられてきました。しかし、「臭気の問題」「合材が冷めず次工程までの時間がかかる」「耐流動性が確保しにくい」といった課題がありました。また、プリスタリングの発生が懸念されることからコンクリート床版への適用が避けられてきました。

エポックグースはこれらの課題を解決し、**グースアスファルト混合物のコンクリート床版への適用を可能にした特殊ポリマー改質アスファルト**です。鋼床版には『**エポックグース S**』をご使用ください。床版とグースアスファルト混合物層間の接着性に優れる『**プライマー GT**』もご用意しております。

『エポックグース』の特長

1 耐熱性に優れる

クッキング時間が5時間を超えても NEXCO 各社が定める混合物試験の基準値を満たすことができます。



4 優れた強度特性

グースアスファルト混合物に高い耐流動性を付与します。



上：エポックグース、下：従来グース

2 低臭気

臭気は通常の改質アスファルトとほぼ同等です。また、従来グースより低温で施工が可能であるため、より一層臭気が低減されます。



5 柔軟性が高い

バイнда自体が高い可撓性を有しています。そのため、グースアスファルト混合物に高い柔軟性を付与します。



バイнда曲げ試験の状況

3 施工性に優れる

フィラーとの親和性が高く、短時間のクッキングにより施工しやすいグースアスファルト混合物が得られます。



6 クラックに強い

たわみ性を付与するポリマーを配合しており、従来グースよりも疲労ひび割れに対する抵抗性を高めております。



繰り返し曲げ試験の状況

『エポックグース』のバイнда性状

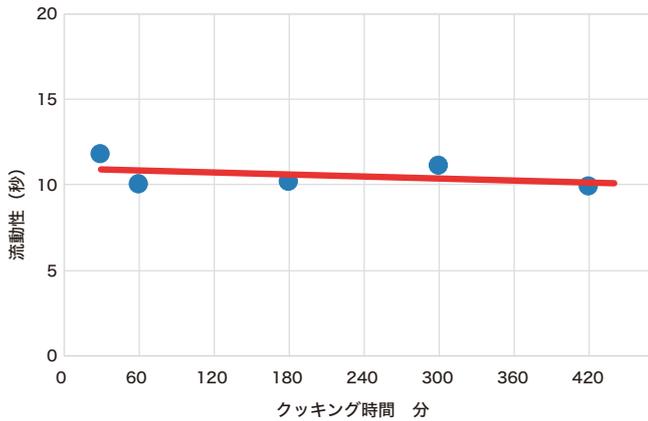
試験項目	単位	エポックグース (コンクリート床版用)	
		代表性状	品質基準
針入度 (25℃)	1/10mm	25	20 ~ 40
針入度 (60℃)	1/10mm	154	100 ~ 200
軟化点	℃	99.0	80.0 以上
曲げ仕事量 (-5℃)	$\times 10^{-3}$ kPa	1,377	750 以上
曲げスティフネス (-5℃)	MPa	37	80 以下
伸度 (15℃)	cm	49	30 以上
薄膜加熱質量変化率	%	-0.08	0.6 以下
密度	g/cm ³	1.024	—
G* /sin δ (60℃) * ¹	Pa	16,547	5,000 以上

*¹ DSR (Dynamic Shear Rheometer : ダイナミックシアレオメーター) による動的粘弾性評価 測定温度 : 60℃、平行円盤直径 : 25mm、試料厚 : 2mm、周波数 : 1.2rad/s、ひずみ量 : 1%

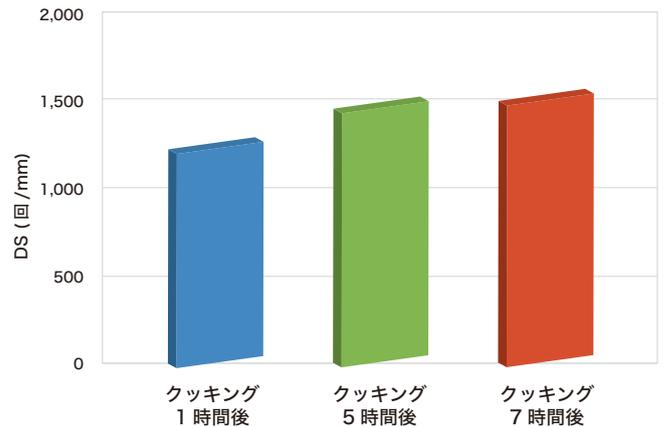
『エポックグース』を用いた改質グースアスファルト混合物性状例

エポックグースを使用した改質グースアスファルト混合物は、クッキング開始から5時間を経過しても良好な混合物物性を有しています。

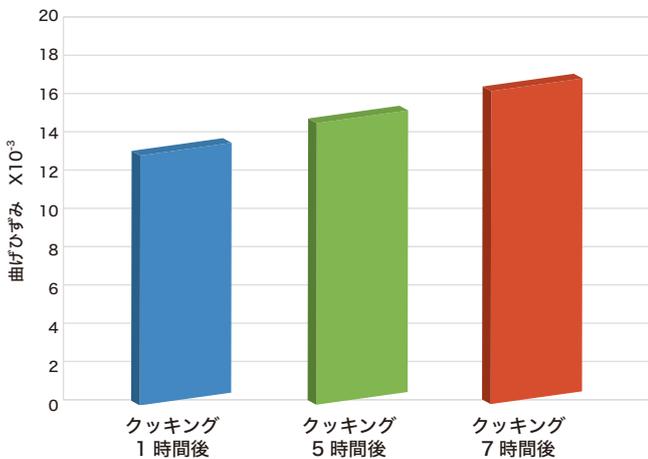
■リュエル流動性



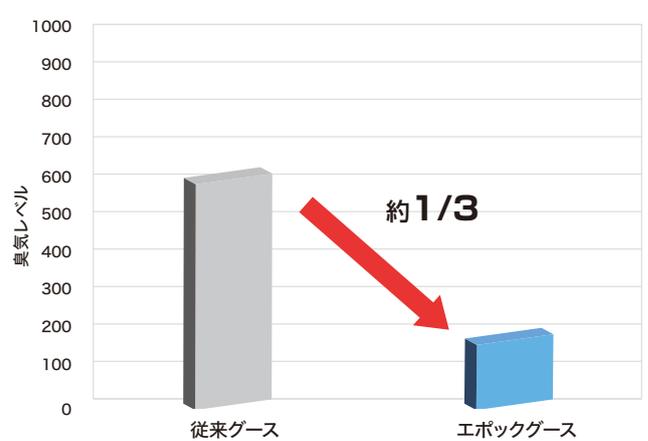
■動的安定度



■曲げひずみ (-10℃)



■臭気



■密着性 (コンクリート床版)

プライマー GT を使用することで優れた接着性を得ることができます。

道路橋床版とグースアスファルト層間の接着用プライマーには、併せてこちらをご使用ください。

引張強度
規格値：0.6N/mm² 以上

0.83N/mm²
80%下地破壊

せん断強度
規格値：0.15N/mm² 以上

0.34N/mm²
15%下地破壊



『プライマー GT』(17L/缶)

⚠ 本製品のご利用の際には、SDS をご確認の上でご利用ください。

⚠ 本データは一例です。エポックグース S (鋼床版用) につきましては、技術資料のデータをご参照ください。



日進化成株式会社

本社 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-15
TEL 03-3235-5411 FAX 03-3235-1315

技術研究所 〒300-2359 茨城県つくばみらい市紫峰ヶ丘1-1-1
TEL 0297-38-8271 FAX 0297-38-8272

事業所一覧はこちらから▶

